

令和7年産大豆『ふくよかまる』栽培ごよみ

(令和7年2月作成)
福岡県築業協同組合
京築普及指導センター

月	6			7			8			9			10			11			12			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上			
生育相							開花期			さや伸長期			子実肥大期			収穫期						
主な管理作業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 排水対策 (周囲の作溝・弾丸暗渠) ○ 土壌改良材の施用 ○ 種子消毒 ○ 播種・除草剤散布 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回中耕培土 (本葉2~3葉期) ○ 中期除草剤散布 ○ 第2回中耕培土 (本葉4~5葉期) 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 病害虫防除 (補正) (ハスモンヨトウ) 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 病害虫防除 (基幹) (紫斑病・カメムシ類・ハスモンヨトウ) 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 病害虫防除 (補正) (カメムシ類) 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 刈取り 			<p>新しくデビュー!</p>			
業	<p>降雨が無く、ほ場が過乾燥した場合は、必ず行いましょう。</p>																					

＜ふくよかまるの品種特性＞

播種日	開花期	成熟期	耐倒伏性	収量	百粒重
月・日	月・日	月・日		kg/10a	g
6・15	8・7	10・30	やや強	322	30.5
7・10	8・21	11・1		366	32.4

◎土壌改良材(10a当たり)
土壌pH矯正と土づくりをしましょう。
適性pH: 6.0~6.5

資材名	施用量
生石灰	100kg
細粒苦土石灰	160kg
ミネラルG	200kg
牛ふん堆肥	2,000kg

◆播種時期と播種量

播種時期	株間設定(cm)		目標苗立本数 (本/m ²)	播種量 (kg/10a)
	条間60cm	条間70cm		
6/21~30 (早播き)	30~25cm	26~21cm	9~11本	3~4kg
7/1~10 (適期播種)	25~20cm	21~17cm	11~14本	4~5kg
7/11~20	20~15cm	17~13cm	14~19本	5~7kg

◆種子消毒(種子1kg当たり)

農薬名	使用量	対象病害虫
クルーザーMAXX	8ml	紫斑病、苗立枯病、ネキリムシ類、ハセ
キヒゲンR-2フロアブル	20ml	紫斑病、苗立枯病、ハセカラス

※クルーザーMAXXは、排水不良田等での出芽、苗立ちが安定します。
※薬を塗抹処理後、乾かして播種を行いましょ。

◆基肥(10a当たり)

肥料名	施用量	備考
くみあい化成	10kg	適期播種
ベスト444	20kg	大豆連作田、地力の低いほ場

◆初期除草剤(10a当たり)

○播種前

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
耕起前又は出芽前まで (雑草生育期)	ラウンドアップ マックスロード	200~500ml	50~100ℓ
播種前まで	ブリグロックスL	600~1000ml	100~150ℓ

○雑草が少ない場合

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
播種後出芽前 (雑草発生前)	ブロールプラス乳剤	400~600ml	70~150ℓ
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ

○アサガオ類、ホオズキ類、ヒユ類の発生が多い場合 ※2剤を混用して使用

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
播種後出芽前 (雑草発生前)	ブロールプラス乳剤	400~600ml	100ℓ
	フルミオWDG※	5~10g	
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ
	フルミオWDG※	5~10g	

※フルミオWDGは微量でも他作物に影響を与える可能性があるため、散布した後の散布器のタンクやホース・ノズルは「フルミオWDG洗浄剤」を使用し洗浄して下さい。

◆中期除草剤(10a当たり)

	除草剤名	使用時期	使用量	使用水量	備考
イネ科	ポルトフロアブル	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで	200~300ml	100ℓ	イネ科雑草にしか効果がない 周辺の水稲には絶対に飛散しないように注意する
	パワーガイザー液剤	大豆出芽直前~3葉期 (雑草発生始期~2葉期)	200~300ml		広葉雑草、イネ科雑草に効果がある 周辺の水稲に飛散しないように注意する
広葉雑草	大豆バサグラン液剤	大豆の2葉期~開花前	100~150ml	100~150ℓ	広葉雑草にしか効果がない 大豆バサグラン液剤は、アメリカセンダングサ、タデ類に効果が高い アタックショット乳剤は、ホオズキ類、ヒユ類に対する効果が高い
	アタックショット乳剤	大豆の2葉期~開花前 収穫45日前まで	30~50ml		
うね間	ザクサ液剤	雑草生育期 収穫28日前まで	300~500ml	100~150ℓ	アサガオ類、ツクサ類に効果がある 大豆にかからないように散布を行うこと

※大豆バサグラン液剤とアタックショット乳剤は、薬液がかかった大豆の葉に葉害が出ますが、新しく展開する葉への影響はなく、次第に目立たなくなります。ただし、大豆が生育不良等の場合は葉害を助長する恐れがあるので、使用上の注意事項を確認してください。

◆病害虫防除(10a当たり)

農薬名	使用量・希釈倍率	使用水量	対象病害虫
ガードベイトA	3kg	—	ネキリムシ類
プロフレアSC	2,000~4,000倍	100~300ℓ	ハスモンヨトウ
エクシードフロアブル	2,000倍		カメムシ類
アミスター20フロアブル	2,000~3,000倍		紫斑病
トップジンM水和剤	または 1,500倍		

※ガードベイトAはネキリムシの発生を確認したら株元に散布します。(生育初期)

※プロフレアSCは、ハスモンヨトウ幼虫が大きくなると薬効が低下するので、幼虫が分散する前に防除しましょう。

＜ハスモンヨトウの生育イメージ図＞



播種のポイント 7月10日までに播きましょう!

- ①排水対策の徹底 → 弾丸暗きよ、周囲溝の整備など
- ②雑草防除 → 播種前の除草剤の活用(ラウンドアップ等)
- ③播種方法 → 部分浅耕一工程播種の導入または、事前耕起をせず、組み作業で播種